

# ケアラー新聞

2021  
7  
July  
NO.3

編集・発行 全国介護者支援団体連合会 助成 公益財団法人キリン福祉財団 発行 2021年7月20日

いま、ニュースや新聞などあらゆるところで目にする機会の多い「ヤングケアラー問題」。国はいちはやく支援政策を打ち出しました。あらためて、今号では「ヤングケアラーをめぐる政策の動向」として施策の内容を取り上げました。あなたの住む自治体では、ヤングケアラーの調査など、動きをはじめていますか。

## 特集 ヤングケアラーの政策動向 ..... P2

東洋大学ライフデザイン学部准教授 渡辺 道代

## 寄稿 『男が介護する』（中公新書）を上梓して ..... P3

立命館大学教授／男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長 津止 正敏

## ケアラーの思い ..... P4

- ◆認知症の妻との暮らしで思うこと
- ◆ケアラー支援に必要な「同感」を維持する必要性について

## 全国のケアラー団体から ..... P5

- ◆つづく介護への「いまの悩み」  
介護者のつとめ「オアシス」
- ◆シングル介護の悩みの共有の場  
長崎シングル介護を考える会

### 介護者の集い「オアシス」

20畳の和室で保育をしながら介護者の集いを開催。育児と親の介護をして16年目の女性を囲んで、親も子どもも安心して話しています



### ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼い子ども向けの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

# 特集 ヤングケアラーをめぐる政策動向

東洋大学ライフデザイン学部 准教授 渡辺 道代

## ヤングケアラーとは？

「ヤングケアラーの実態に関する調査研究（全国調査）」<sup>\*1</sup>（2021年3月）では公立中学2年生の5.7%（約17人に1人）、公立の全日制高校2年生の4.1%（約24人に1人）が「世話をしている家族がいる」と回答し、1学級につき1～2人のヤングケアラーがいる可能性があることが示されました。ケア対象はきょうだいが一番多く、ヤングケアラーの1～2割が「宿題や勉強の時間が取れない」「自分の時間がない」「精神的にきつい」と訴え、睡眠不足や進路を変更するなどの影響が出ています。

それらの発表を受けて、内閣府は「子供・若者育成支援推進大綱」<sup>\*2</sup>（改訂・2021年4月子ども・若者育成支援推進本部）の中で、世帯構造の変化等から、父母や兄弟姉妹等の家族の介護等が必要になった場合、子ども・若者自身が介護者（ヤングケアラー等）とならざるを得ず、勉学や生活等に支障がきたす事態が生じていると指摘し、ヤングケアラー支援の必要性を示しました。

## 国の施策化にむけ、プロジェクトチームができました！

国はヤングケアラーの支援に向け、2021年3月「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム」を立ち上げ、2021年5月にとりまとめ報告書<sup>\*3</sup>を発表しました。今後取り組むべき施策として、3つの柱を挙げていきます。

**①早期発見・把握** では、福祉、介護、医療、教育等の様々な分野が連携しアウトリーチにより早期に発見する、子どもの気持ちに寄り添い、支援の必要性やどのような支援が欲しいのか等について聞き取る、地方自治体において実態把握のための調査が実施されることなどが挙げられています。

また学校、医療機関や福祉事業者、児童委員や子ども食堂などの関係者が把握に努め、関係者等への研修が必要とされました。また埼玉県取り組み（ケアラー支援条例による実態調査）も推奨されています。

**②支援策の推進** については、ピアサポート等の悩み相談や福祉サービスへのつなぎなどの相談支援の推進、スクールソーシャルワーカー等を活用した教育相談体制の充実やNPO等と連携した学習支援の推進などが挙げられています。

適切な福祉サービスの運用には、子どもが主たる介護者となっている場合には子どもを「介護力」とすることを前提とせず、居宅サービス等の利用について十分配慮することなど自治体や関係団体に周知を行うとされました。

**③社会的認知度の向上** では、ヤングケアラーの認知度を上げるために、2022年度から3年間を集中取組期間として、「ヤングケアラー認知度向上キャンペーン」（仮称）を実施することになっています。具体的には、ポスターやリーフレット作成、広報動画の作成、全国フォーラムの開催などです。また、福祉、介護、医療、教育分野のヤングケアラーに関する周知・広報や研修やヤングケアラー当事者、支援団体等が行う各種活動への支援なども挙げられています。

## ヤングケアラーの相談窓口が設置されました。

また、神戸市は2021年度に「こども・若者ケアラー支援担当課」を福祉局内に配置し、2021年6月より本人からの相談を受け付けています。鳥取県では、2021年度より県内3カ所の児童相談所に「ヤングケアラー」の相談窓口が開設されました。

ヤングケアラーの支援にあたっては、福祉、介護、医療、教育の関係機関が連携し、一体となってヤングケアラーへの切れ目のない支援が行われることが必要です。国、自治体、関係機関や地域において、複合的な支援が推進されることが望まれています。

\*1 「令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業 ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社政策研究事業本部 令和3年3月 <[https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2021/04/koukai\\_210412\\_7.pdf](https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2021/04/koukai_210412_7.pdf)>2021年6月1日アクセス

\*2 「子供・若者育成支援推進大綱～全ての子供・若者が自らの居場所を得て、成長・活躍できる社会を目指して～」令和3年4月子ども・若者育成支援推進本部 <<https://www8.cao.go.jp/youth/suisin/pdf/r03-taikou.pdf>>2021年6月1日アクセス

\*3 「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム報告」令和3年5月17日 ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育の連携プロジェクトチーム <<https://www.mhlw.go.jp/content/000780549.pdf>>2021年6月1日アクセス



## 『男が介護する』（中公新書）を上梓して

立命館大学教授／男性介護者と支援者の全国ネットワーク事務局長  
津止 正敏

高校の恩師から近況が届きました。“私も100万人のひとりかな。妻はいま、デイサービスに週3回通っている。本人はもともと行っていたコースの集いにいっている、とと思っているみたい”。数年前に自宅に伺った時には、むしろ恩師の方が心配でした。会話が弾まなくなった恩師のそばで、「聞こえが悪いの。大きな声で話してね」と私にこっそり諭してくれていた奥様でした。いま、その奥様がデイサービスに通い、気遣われていた恩師が介護者となって二人の暮らしを支えています。

恩師のように、介護を担う男性が増えました。「介護者」といえば女性、と相場が決まっていた時代とは違って、いま、同居の主たる介護者の性別では、男性は35.0%（2019年国民生活基礎調査）と3人に1人。直近の「社会生活基本調査（2016年）」では、介護している人は698万7000人で、男性が277万6000人、女性が421万1000人、男性はもう39.7%を占めています。家族介護者のなかでは、もう男性は例外的で稀有な存在ではなくなっています。

私が事務局長を務めている「男性介護者と支援者の全国ネットワーク」もこうした背景をもとに発足しました。あれからもう十余年。ネットワーク活動で縁を紡いだ方々とのエピソードを繋いで、“いま”を起点に“これまで”と“これから”を綴った『男が介護する一家族のケアの実態と支援の取り組み』（中公新書）をこの2月に上梓しました。「私も100万人のひとりかな」とあった恩師のお便りには“帰省の際はフィールドワークで我が家に”とも添えてありました。不肖の教え子への激励メッセージです。

“いま”はコロナ禍での介護や私たちの10年の活動を振り返りました。“これまで”は、映画「たそがれ清兵衛」のように男性が当たり前

介護担っていたという江戸時代の記録を取りあげ、“これから”は介護のある暮らしが社会の標準になるような新しい時代の倫理を構想しました。“介護は辛くて大変、でもそればかりではない「深い人生」もある”と語る幾人かの男性介護者の声を紹介しましたが、多くの人に届いて欲しいと思います。介護のある暮らしの一コマ一コマを大事に伝承していく作業は、介護を邪険に扱うこの社会の主流派への異議申し立てにもなっていくようです。ぜひ手に取って頂けたら嬉しいです。

介護保険制度の施行（2000年）から20年以上が経過しましたが、同制度が標榜した「介護の社会化」の実現はまだ道半ば、難問山積です。介護者支援はいま、議論が始まったばかり。冒頭でご紹介した恩師やKさんたちの思いを抱きしめながら、「介護のある暮らしが標準となる社会」を目指して共に歩んでいこうと思います。

## 『男が介護する』

家族のケアの実態と支援の取り組み

902円（本体820円+税）【中公新書】



# ケアラーの思い



## 認知症の妻との暮らしで思うこと

井上 信隆(熊本県/69歳)

私の妻は、52歳の時に若年性アルツハイマー病の診断を受けました。先生から言われた「病気が治らないこと」、「薬はあるが数年しか遅らせることができないこと」、「余命も10年程度で決して長くはないこと」等々、今も鮮明に覚えています。

あれから18年、多くの苦しみ、悲しみ、そして幾度の限界を感じながらもいろんな人との出会い、特に認知症の人と家族の会の皆さんとの交わりは、多くのことを学ばせていただき、今日の大きな支えとなっております。

認知症という病は、介護する人もされる人も孤立させてしまいます。友人、知人はもとより近い人と接する機会も極端に少なくなってしまう。

昨今、認知症に関する本や報道も多くなりましたが、認知症の奇行的な周辺症状が大きく取り上げら

れて、介護する人の大変さ、辛さだけに目がゆき、まだまだ患者本人の思いというものが忘れられているように思います。

私が妻との暮らしで思うことは、認知症であることの辛さ、苦しさは、今も妻の心のなかにあり、言葉に出せない感情は涙になって出てきます。確かに身体の機能は衰え失われてきましたが、妻の脳も心も、残された生命のなかで懸命に生きようと頑張っています。

認知症になっても、寄り添ってくれる人のいるうれしさ、声を掛けてくれる人のやさしさは、いつまでも妻の心に残るものだと思います。

私は介護という言葉は横に置き、日々の暮らしのなかで現実を受け入れ、妻の思いというものを大切に、一日一日を穏やかに過ごしていきたいと思っております。

## ケアラー支援に必要な「同感」を維持する必要性について

秋保 秀樹(宮城県/33歳)



こんにちは。私は秋保秀樹と申します。私が認知症の祖母のケアをしておりましたのは16歳から23歳の時でした。看取ってから今年で10年になりますが、私が過去の経験を語った時によく聞かれることの一つに「施設への入居は考えなかったのですか」があります。

この場合、「公的な施設」つまりは特別養護老人ホーム(特養)への入居は考えなかったのか、という問いなのですが、これに対して私は「祖母の要介護度は最大で2でした。」と答えています。

特養への入居条件の不合理性については、本文をお読み下さる読者の皆様、介護や医療・福祉に関わる方々には説明は不要と思われるので省略させていただきます。

私と母(祖母の娘になります)に選べた選択肢は「自

宅と土地を処分してその費用で民間のホームに強制入居させるか」と「祖母が自然死するまで介護をどこまでも続けるか」の2つでした。最終的には、私も母も疲弊しきってしまいましたので、徹底的に抵抗する祖母をグループホームに入居させました。家庭的な良いグループホームでしたが、デイサービスですら拒絶して行かなくなった祖母にとってはストレスだったのでしょう。3か月ほどで亡くなりました。ケアをしていた日々は私たち家族にとって「祖母の人権」と「私や母の人権」、そのどちらも守ろうとする戦いでした。

コロナ禍のなか、今後さらに凋落していく恐れのあるこの国のなかで「この戦い」への同感を、多くの人々に持ちつづけてもらうにはどうしたらいいかと、私は考えています。



# 全国のケアラー団体から

## ● つづく介護への「いまの悩み」

介護者の集い「オアシス」 / 村松 治子

昨年、緊急事態宣言が発令されると「オアシス」の集いは4か月中止となりました。

介護者の集い「オアシス」は2002年、財団法人さいしん福祉財団の介護者リフレッシュツアーに参加した7名が後日、ファミリーレストランで集まったことから始まりました。その後、小学校の教室へ会場を移し、現在は小学校と公民館の3か所で介護者の集いを開いています。

最初、介護者は嫁と娘の立場の中高年者でしたが、後に生後7か月と2歳の幼児を連れたママ、元ヤングケアラー、男性、独身者、働いている人と、19年の間に介護者の立場は多様化してきました。ただ、高齢介護者は変わらず常に参加しています。

先日は耳の障害がある介護者が、要約筆記者（話の内容を書いて伝える文字通訳）と一緒に参加されました。「オアシス」では新しい経験です。「高齢の母は手話も出来ないし文字も書こうとしない。口の動きもわからず、つい怒ってしまう」「障がい者という一つの枠にいたがるのは普通の人です」と話された。私たちは障がいのある人の不自由さを思いやっていたつもりですが、その人の

内面の理解には至ってなかったと知ることになりました。

緊急事態宣言が解除され、集いが再開されると介護者からは、コロナより介護のいまの悩みが多く語られます。認知症の対応の難しさ、徘徊された時の警察への通報のためらい、専門職や家族との関係や不満、心身の限界を感じる時、など以前と同じように介護の大変さがほとんどです。介護者はコロナ禍の不安は当然ですが、相変わらず休むことなく介護をしていたのがわかる一年でありました。



3会場で展開。ここは小学校の教室を和室風にした「平成塾」での集い。2020年2月25日撮影

### 【連絡先】

■介護者の集い「オアシス」

TEL：048-924-6607(村松治子)

〒340-0022 埼玉県草加市瀬崎 2-44-45

## ● シングル介護の悩みの共有の場

長崎シングル介護を考える会 / 毛利 真紀

結婚をしていない独身の子ども…親族のなかで「動きやすいポジション」にあると誤解されやすく、結果、家族の介護を任せられやすい。たまたまそういう境遇にあるだけなのに…。

「長崎シングル介護を考える会」は、2012年8月に発足しました。それまでも、病気の当事者やその家族介護者が集まる場はありましたが、「シングル介護の悩みを話せる場がないね」という声から、会の発足に繋がりました。みんなで思いを受け止め、「自分だけじゃない。一人じゃない」という安心感を生むこと、共感しあうことを大切にしているのが当会の特徴です。

結婚観や家族観は多様化しているのに、介護はいつまでも家族ありきという考え方は時代に逆行していると思えてなりません。家族の介護を自分でしたい人も、施設での介護を望む人も、どの選択も制約を受けることなく尊重されるような、もし介護に直面した時、すべての人がどんな選択もできる柔軟な制度整備が必要ではないかと、切実に感じています。

当会は2か月に1度の定期交流会、シングルケアラーの声の発信を主な活動内容としていますが、コロナ禍のなか、思うように集まることもできず、先日「シングルケアラーのつづき」場所に、会員限定の掲示板を作成しました。日々の小さなモヤモヤが積み重なってしまわないうちにこまめに吐き出す…些細なことのようで、実はこれがケアラー生活を送る上でとても重要なのです。

### 【連絡先】

■長崎シングル介護を考える会

email:singlekaigo@gmail.com

〒850-0022 長崎市馬町 21-1

長崎市市民活動センター内

HP:<http://singlekaigo.jimdo.com/>



長崎シングル介護を考える会のパンフレット。「ペコスの母に会いに行く」で知られる岡野雄一さんのイラストを使用



## 事務局だより



先日最終回を迎えたドラマ『大豆田とわ子と三人の元夫』。物語の後半で主演の大豆田とわ子（松たか子）と恋仲になる小鳥遊大史（オダギリジョー）が、実はヤングケアラーだったと唐突に明かされてびっくりしました。

その描写はとても簡潔なものでした。回想シーンで、ジャージ姿の若者が台所でミキサーを使って介護食をつくっているところ、同じ若者が要介護者の眠る介護ベッドの前で立っているところの二つの場面を数秒流すのみ。17歳から31歳までを費やし、大学に行けなかったことがナレーションからわかりますが、「介護」や「ケアラー」という言葉は出てきません。

その頃のことを「人生がない期間があった」と表現し、30代で突然社会に放り出され、途方に暮れていたところを社長に拾われて…と続き、「女性と付き合いがない」「仕事では社長のいいなり」という小鳥遊のキャラクターに説得力をもたせていました。

数年前だったら信じられないことですが、ドラマの制作者たちは、それだけで十分伝わると判断したのでしょう。それだけヤングケアラーの存在が、社会のなかで認知されてきたのだなと実感した出来事でした。



## ケアラー新聞をご希望の方へ



まとまった数の送付をご希望の方は、「レターパックライト 370円」「切手 370円分」をお送りいただければ、50部を郵送します。それ以上の部数をご希望の方は事務局にご相談ください。



## 全国介護者支援団体連合会



【全国各地でケアラー支援に取り組む団体のネットワークです。】

### 主な活動

- ケアラー支援団体の交流・情報交換会の開催
- ケアラー支援に取り組む人材の育成
- ケアラー新聞の発行 など

### 共同代表

- 牧野 史子（NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジン）
- 太田黒 周（NPO法人てとりん）

### 入会案内

【一緒にケアラー支援の輪を広げましょう】

団体同士の交流会や、活動リーダー向け研修等に参加できます！

● 正会員（団体）	5,000円/年
● 準会員（団体）	5,000円/年
● 準会員（個人）	3,000円/年

※正会員はケアラー支援を行う団体に限ります。  
※当会ホームページより入会申し込みできます。

## 全国介護者支援団体連合会 事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-18-10 橋場コーポ302  
メール ▶ zenkokukaigo@gmail.com  
U R L ▶ <https://kaigosyasien.jimdofree.com/>



# 老人ホーム探しは みんないにお任せください!

相談料無料!

年間 15,000 件の  
相談実績!

日本初の老人ホーム  
紹介会社!

フリーダイヤル  
**0120-57-5950**

受付時間 9:00~19:00 年中無休

